

## 「資源循環のまちづくり」の効果



バイオマスセンター「ルフラン」が2018年12月に本格稼働してから、循環のサイクルが着々と回り始め、効果も見えてきました。みやま市の「地域資源を活かした資源循環のまちづくり」は、「環境と社会により暮らし」への取り組みを応援している事業「グッドライフアワード」の環境大臣賞優秀賞に選ばれるなど、高く評価されています。



生ごみなどが微生物（メタン菌）の力でエネルギーと肥料に変身！

### ルフランの処理能力

(1日130トン/日：最大処理量基準)

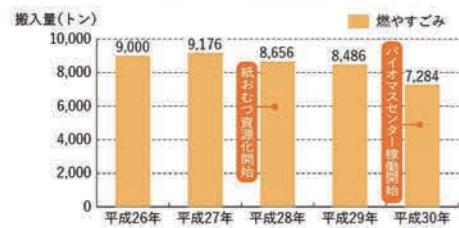
家庭生ごみ 5.3トン/日  
事業生ごみ 2.3トン/日  
食品廃棄物 2.3トン/日  
し尿 42トン/日  
浄化槽汚泥 78トン/日

発生したバイオガスを  
利用して電気と  
温水を生成

電力の生成	約817MWh/年 (164世帯相当)	施設の電力60%を供給
温熱の生成	約4,000GJ/年 (灯油108kL相当)	化石燃料利用の削減
化学肥料の削減	液肥生産量 約20,000トン/年 液肥散布面積 約400ha/年	循環型農業の推進
雇用の促進	35名の雇用 (2018年時点)	地域の活性化
周辺環境に優しい	嫌気発酵による悪臭防止	人が集まる賑わいの施設
温室効果ガス削減	年に2,012トンのCO <sub>2</sub> 削減	地球温暖化防止

地球環境を守るため市民みんなで取り組んでいます

### 燃やすごみ量の変化



### 生ごみ資源化の効果



分別によって  
ごみ収集や焼却のラン  
ニングコストを削減でき  
年に174,345千円のコ  
スト削減が可能！



多方面から注目されています！

みやま市の取り組みは国内外から注目されており、全国の自治体関係者だけでなく、政府関係者や国会議員、大学の研究者、大手企業の方など、さまざまな分野の人がたくさん視察に訪れています。ルフランは稼働後わずか1年足らずですが、すでに多くの見学者が。

エネルギー政策について  
視察した人の数  
延べ **5000人**

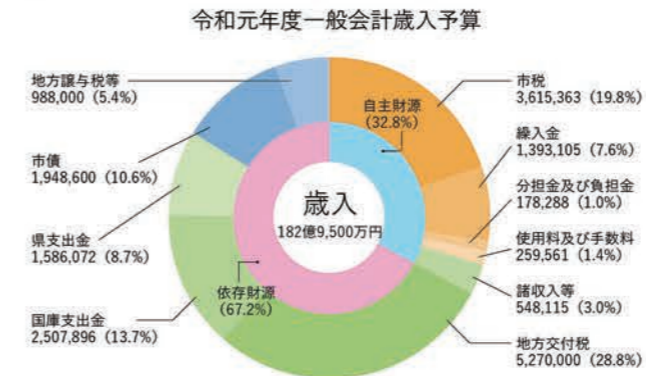
ルフランの  
来場者数  
(2019年10月時点)  
**約2000人**

太陽光発電施設設置  
普及率  
**10.8%**  
(全国平均6.6%)

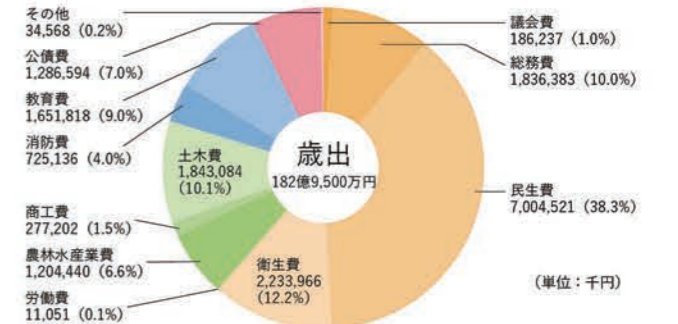
みやま市内に必要な電力のほとんどを  
市内の太陽光の発電所で賄えます。

## 財政

### ●歳入・歳出



### 令和元年度一般会計歳出予算 (目的別)



### 市税の内訳 (千円)

項目	金額 (千円)
市民税	1,431,803
固定資産税	1,813,112
軽自動車税	143,660
市たばこ税	226,761
特別土地保有税	1
入湯税	26
計	3,615,363

### 主な事業 (千円)

項目	金額 (千円)
コミュニティバス運行委託料	30,800
第3子以降給食費助成	11,090
子育て世帯・新婚世帯家賃補助金	12,000
工業団地造成事業費	45,370
高齢者運転免許証自主返納支援事業助成金	9,797
農産物販売力強化対策費	5,375
オルレ・イベント維持管理委託料	2,160
埋立処分地整備工事費	119,460
過疎対策道路整備事業費	101,100
子ども医療費	122,047
ふるさと納税報償費	45,000
柳川・みやまオリバラ事前キャンプ連絡協議会負担金	4,000

## 観光

### ●観光の状況

#### 観光入込客数及び消費額



#### 観光目的別構成比 (平成28年)



道の駅みやまの  
売り上げ  
年間9億8千万円

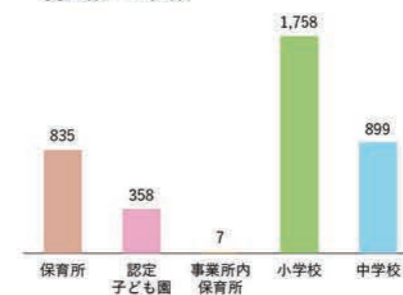
資料：福岡県観光入込客推計調査

## 教育・子育て

### ●学校教育の状況

保育所：平成31年4月1日現在  
認定子ども園：平成31年4月1日現在  
事業所内保育所：平成31年4月1日現在  
小学校：令和元年5月1日現在  
中学校：令和元年5月1日現在

#### 児童数・生徒数



#### 保育士数・保育教諭数・教職員数

